

東小北小河内通学パトロール隊（長野県）

活動地域と団体の概要

長野県箕輪町「東小北小河内通学パトロール隊」の活動について、発表させていただきます。私は、昨年度責任者をしていただきました小出嶋文雄と申します。よろしくお願い致します。

箕輪町は長野県の中南部にありまして、南アルプスと中央アルプスに抱かれ、中央を天竜川が流れる田園工業地帯であります。人口は2万6,000人弱という町で、赤そばの里としても人気がある所です。私たち北小河内区は箕輪町の最北端に位置し、人口約1100人、355戸の自然豊かな田園と野菜などの畑に囲まれた住宅地です。この北小河内区には、国の重要文化財であります無量寺阿弥陀如来坐像などをはじめ、多くの文化財が残されています。北小河内区では、区のキャッチフレーズ、「なごやかに、心解けあう『きたおごち』」を掲げまして、地域づくりに取り組んでいます。

私たちの活動地域であります北小河内区は、2012年5月にセーフコミュニティの認証を取得した箕輪町からセーフコミュニティモデル地区に指定されて、積極的に安全・安心なまちづくりに向けた活動を行ってきています。また、この活動地区の小学校の箕輪東小学校は、セーフコミュニティ活動モデル学校となっていて、学校、地域が一緒になって、安全・安心なまちづくりに向けて取り組んでいます。

私たちのこの北小河内通学見守り隊ですが、メンバーは北小河内区に居住する住民のボランティアの皆さんを中心に学校、PTAなどで構成されています。現在は97名で活動をしています。平均年齢が50歳と、だんだん年齢が上がってきている状況です。



2 団体概要

東小北小河内通学パトロール隊
(北小河内通学みまもり隊)

- ボランティア
- PTA
- 97名
- 平均50歳



活動の概要

活動内容ですが、主に三つあり、メインの活動は、小学校の下校時に合わせた「子供見守り活動」です。二つ目は、地域内の安全点検活動。三つ目は、子供の安全のための情報収集活動です。

まず、小学校の下校時に合わせた「子供見守り活動」ですが、通学路の危険箇所などに立って、下校してくる児童に声掛けなどを行う見守り活動です。見守り隊員は、先ほど言いましたが、グリーンの帽子、それから、ジャンパーを着て、この活動を行っております。「お帰りなさい」「こんにちは」「気を付けて帰るんだよ」などと声を掛け、児童もあいさつを交わすように指導をしています。

二つ目の地域内の安全点検活動ですが、パトロール活動に合わせて実施したり、子供たちやPTAからの話を聞いたりなどし、また、PTAの皆さんと実地調査などをして危険箇所の点検を実施し、その危険箇所を地図上に示した危険箇所マップ「ヒヤリハット地図」を作って、学校内、また、地区の公民館などに掲示しております。写真の左側がその「ヒヤリハット地図」です。この地域が北小河内という区域でして、写真の右側は、その地図を作っている模様です。その下の

写真は、セーフコミュニティの認証の現地調査のときに、審査員の皆さんに、この「ヒヤリハット地図」などを見てもらっているところです。また、点検をした危険箇所には、この危険を知らせる注意看板も設置しています。

三つ目の情報収集活動ですが、町、小学校、警察などから、児童の抱える問題、不審者の出没・声掛け事案等の発生情報など、子供の

3 活動(事業)内容・特長

- (1) 子供見守り活動
- (2) 地区内の安全点検活動
- (3) 情報収集活動

(1) 子供見守り活動



(2) 地区内の安全点検活動



(2) 地区内の安全点検活動



安全に関する情報を収集し、それをパトロール・見守り活動に生かすようにしています。また、学校行事などにも積極的に参加し、子供と接する機会を増やし、子供たちに地域で行っている安全・安心な地域づくり活動を紹介しながら、子供と親交を深めています。この写真は小学校でセーフコミュニティ活動について、児童に話をしているところです。

(3)情報収集活動



子供見守り活動は児童の学校通学日の下校時間帯に、この下校時刻につきましては小学校から毎月通知をいただいておりますが、1時間半～2時間の間、北小河内区域の中を通学路別に四つの区域に分けまして、各地区で1人ずつ通学パトロールを行うよう、シフトを組んで実施しています。先ほどお話し申し上げましたように、全部で97人、今現在いますので、それを4班に分けまして、この実施をしています。それと、パトロールを行った都度、実施結果を日誌に記載し、翌日のパトロール担当者に回して引き継ぎ、見守り隊活動に生かすようにしています。この中の必要な事項は、学校、町などの関係機関に連絡し、情報の共有も行っております。

4 活動頻度

- ・活動時間:午後3時～午後5時
- ・活動方法:区内を4地区に分け、各地区で必ず1人は実施するようシフトを組んで実施
- ・活動結果:日誌に記載し、翌日に引継ぎ



この日誌には、先ほど話をしました不審者情報なども記載し、情報を共有するようにしています。少し、その内容を紹介させていただきます。ここには4件ほどありますが、このような子供たちの状況、それから、下校してくる子供たちに対する注意と、そのようなことも書かれています。その他にも、先ほどもありましたが、「不審者出現で集団下校をしているよ」といった状況、それから、「庭木が道路にはみ出して、通学の支障になっているよ」というような情報、それから、「きょうは

4 活動頻度

※日誌抜粋

- ・田んぼで遊んでいる子どもたちがいっぱい、ゆっくり帰ってきます。時間がかかります。のんびり組が多い。
- ・通学路を外れ、低学年に注意される高学年がいました。
- ・3年生の男の子が突然道路に横になったので、あわてて声をかけたら、ふざけていたとのこと。
- ・今の子どもは私たちの頃より、悪ふざけが少ないように見えます。

インフルエンザによる学級閉鎖で子供たちが少なかったよ」という情報、それから、今、ここにもありますけれども、「子供たちが帰りに道草をしたり、また、悪ふざけしている」というような話もあります。あるいはまた、ちょっと変わったところとして、俳句などもいくつか出てきています。少し紹介させていただきますと、「道草の子らとたわむる春の風」「パトロール、雨宿りしてる間に秋の空」、「雪の中、今夜は積もるかパトロール」、このよ

うな俳句も入っているときがあります。このような状況で、この日誌を付けて、その情報の共有を図っているということです。

活動の効果と今後の課題

この活動の効果ですが、一つとしては、これらの活動を通じまして、学校区内での防犯意識の高まりにとどまらず、地域全体における防犯意識が高まってきていると感じています。ここにありますのは、北小河内区の自動車を運転する人に安全意識の向上のために、一番下にありますが、「五つの約束」を書いたカードを作って配布をいたしました。そこには、「シートベルトをする」や、「飲酒運転は絶対しない」ということが書いてありますが、その裏面に、この東小学校の子供の手書きのメッセージを、1枚1枚に書いていただきました。このようなことから、子供さんと大人のコミュニケーションが何となく取れるんじゃないかというような感じがしています。

二つ目ですが、先ほども申し上げました、地域の人みんなで危険箇所のマップの作成、それから、危険箇所への看板設置などに協力し、安全・安心の地域づくりに取り組めるようになってきています。

5. 活動効果

(3) 子どもたちが元気にあいさつをするようになった



それから、子供たちが、「こんにちは」「ありがとうございます」「さようなら」など、元気にあいさつを交わせるようになってきました。また、地域内での防犯意識も高まってきており、町内の企業からパトロール隊に対して、通学パトロール用品が贈呈され、活用させていただいております。セーフコミュニティ活動と、また、安全・安心のパトロール隊員に対しての寄贈がされています。

5. 活動効果

(1) 5つの約束カード(+裏に子どものメッセージ)



5. 活動効果

(2) 危険防止の看板立て



6. 今後の課題

- (1) みまもり隊のメンバーが高齢化してきている
みまもり隊の活動を継続させるため負担
にならない範囲での活動を基本に
- (2) 危険箇所の解消に向け、町、県などに働き
かけていく(歩道の設置)



最後に今後の課題です。通学見守り隊のメンバーがだんだん高齢化してきていますので、この活動を継続させるために、皆さんが負担にならない範囲での活動を基本に進めていきたいと考えています。また、危険箇所の解消に向け、歩道の設置などを、町、県などに働きかけ、実現に向けて活動していきたいとも考えています。以上で、北小河内の通学パト

ロール隊の活動についての発表を終わらせていただきますが、ぜひ、これからも息の長い活動を続けて、安心・安全なまちづくりに努めていきたいと思っています。どうも、ご清聴ありがとうございました。

質疑応答

●質問 高齢化が進んでいるということですが、継続されるために、若い方を取り込むなどの工夫をされていますか。

○回答 学校のPTAの皆さんも一緒に参加してくださいと呼びかけております。もちろん仕事の関係で、子供たちの下校時刻に見守り隊に参加するのはなかなか難しいという方が多いですが、自宅におられるお母さんたちとか、自営の皆さんなどには参加をお願いしている状況であります。

●質問 活動費はどう捻出されていますか。

○回答 見守り隊だけじゃなく、「お任せボランティア」という団体も同じようなメンバーで取り組んでいますが、その両方の活動費ということで毎年3万円を区のほうからいただいております。それ以外にはありません。